

車体 解体マニュアル

仕 様：レントゲン車（バスシャーシ）

用途区分：医療防疫車

車名形式：

製造年月：

承認	作成者
高村	武田

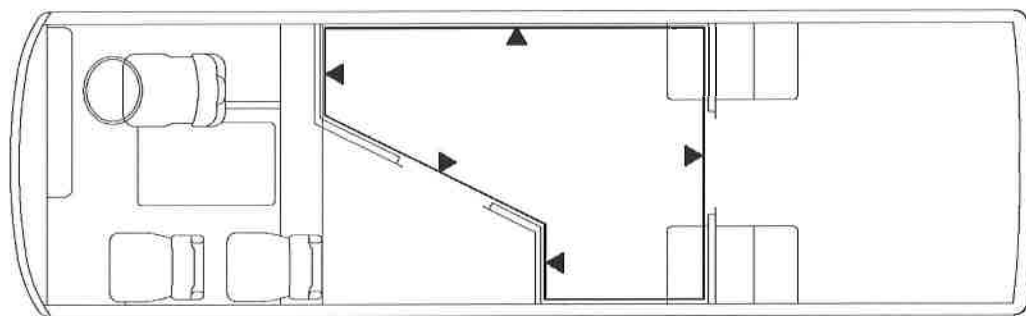
車体製造会社	京成自動車工業株式会社
担当	
連絡先	047-377-0131（代）

はじめに

本マニュアルは、レントゲン車を解体する際の解体手順を記載したものです。

概略構造の説明と注意事項

1. 本車輻は、バス胴殻をベースに座席の一部を撤去し、レントゲン車に架装したものです。
2. 取り外し、解体した部品については、鉄・アルミ・ステンレス・樹脂・ゴム類・木材・配線材等、材質別に分類し、適正な処理を行なって下さい。
3. 本車輻のレントゲン撮影室内壁は、X線防護の為 1.5mm～2.5mm厚の鉛板が挿入されています（天井を除く）。又、撮影室間仕切りのガラスは含鉛ガラスを使用しています。解体の際には、必ずそれらを分離し、単独での適正な処理を行って下さい。



(鉛板挿入位置)

4. 取り外したビス・ボルト類は、必ずまとめて適正な処理を行って下さい。
5. 本マニュアルはレントゲン車の車体の解体手順について記述したものです。架装ベースの部品、車輻に取り付けられている架装部品につきましてはボデーより取り外した後、バス車体メーカー、医療器メーカー、各部品メーカーの指示により、解体・廃棄を行って下さい。

特種な部品、装置

品 目	メーカー（代理店）	品 目	メーカー（代理店）
<ul style="list-style-type: none"> ・ レントゲン装置 ・ 発動発電機 ・ 走行エアコン ・ AC エアコン ・ ヒーター ・ 天井換気扇 ・ 蛍光灯 ・ 油圧ジャッキ 		<ul style="list-style-type: none"> ・ バスシート ・ ドアエンジン ・ 配電盤 ・ トランス ・ コードリール ・ 充電器 	

解体前処理作業

1. フロンガスの抜き取り（走行用と AC クーラー用 2 組付いている場合もあります。）
 新旧フロンを確認して、各専用ボンベ（容量 20 リットル程度）に抜き取って下さい。適宜、所定の破壊処理業者に引き渡して下さい。
2. 燃料の抜き取り
 抜き取り装置で完全に抜き取って下さい。燃料の種類と状態を確認して下さい。自家使用又は廃油処理として各専用容器に分け、消防法を遵守し、保管して速やかに契約処理業者に引き渡して下さい。
3. バッテリーの取り外し
 正負をショートさせないように取り外して下さい。
4. ブレーキオイルの抜き取り
 ブレーキオイルタンク、ブレーキホース及びパイピングよりオイルを抜き取って下さい。
5. パワーステアリングオイルの抜き取り
 インテグラルボックス、オイルタンク及びパイピングよりオイルを抜き取って下さい。
6. L L C（不凍液）
 ラジエータの下部とエンジンの冷却水ドレンコックより専用トレイに受け、所定の容器に保管して下さい。
 増設ヒーターがある場合は、各ヒーターユニット及びパイピングも含め冷却水を抜き取って下さい。

7. 油圧ジャッキオイルの抜き取り（油圧ジャッキ取付車のみ）
オイルタンク（3～4リットル）及びパイピングよりオイルを抜き取って下さい。

リサイクル・処理困難材の使用量（参考）

1. 木材	100 k g
2. 断熱材	15 k g
3. 樹脂	30 k g
4. F R P	5 k g
5. その他	0 k g

処理困難材の委託先情報

木材、断熱材、樹脂などの解体後処理については、「適正処理・再資源化協力事業者一覧表」（社）日本自動車車体工業会ホームページに掲載）を参照し、適性に処理して下さい。

解体手順

1. レントゲン装置の取り外し

レントゲン装置の取り外しは、必ずメーカーのサービスへ依頼して下さい。

！ 注意

レントゲン装置には、鉛を含めた環境負荷物質が使用されています。

2. 車輻に取り付けられている機器、部品の取り外し

前リストに記載されている機器、部品を取り外して下さい。(主にビス、ボルト固定してます)

- ・取り外し後の廃棄方法につきましては、各部品メーカーにお問い合わせの上、適正な処理を行って下さい。

3. 外装部品を取り外し

- ① 走行系灯具を取り外して下さい。(ビス固定)
- ② フェンダーゴムを取り外して下さい。(挟み込み、接着材固定)
- ③ 天幕を取り外して下さい。(ボルト固定、接着材併用)
- ④ フロントリット、フロントグリル、ワイパー、サイドミラー、リヤバンパーなどを取り外して下さい。
 - ・これらはバス車体部品なので、バス車体メーカーの指示に従い適正な処理を行って下さい。
- ⑤ フロントガラス、側面ガラス、サッシ窓を取り外して下さい。
 - ・サッシ窓はガラス部と枠部に分離して下さい。
- ⑥ サイドスカートリット扉を取り外して下さい。(ボルト固定)
 - ・取手、ロックのないリットはスカート下端でボルト固定されています。スカートリットは、ロック、取手、ゴムなど素材別に分離して下さい。
- ⑦ 運転席扉 (扉無しの場合はサッシ窓)・側面出入口扉・後部出入口扉 (扉無しの場合は窓ガラス) を取り外して下さい。
 - ・扉は、ロック、取手、ゴム、ガラスなど素材別に分離して下さい。
- ⑧ 発電機庫防音扉を取り外して下さい。(発電機搭載車のみ)
 - ・発電機庫防音扉内には防音対策の為、防音材、断熱材などが挿入されています。それらは素材別に適正な処理を行って下さい。

4. 内装部品を取り外し

- ① 運転席シート、助手席シート、その他固定シート、シートベルトを取り外して下さい。(ボルト固定)

- ② カーペット、カーテン等室内装飾品を取り外して下さい。(ホック止め)
 - ・素材別に適正な処理を行って下さい。
- ③ 木製家具を取り外して下さい。(ビス、接着固定)
- ④ 間仕切り窓ガラスを外して下さい(枠材ビス固定)
 - ・撮影室の窓ガラスは、X線防護のため鉛を含んでいます。他のガラスとは別処理して下さい。
- ⑤ 撮影室仕切り扉用ドアエンジンを取り外して下さい。(ボルト固定)
- ⑥ 間仕切り扉を取り外して下さい。(ヒンジ部ボルト固定)
 - ・撮影室の仕切り扉内部には鉛板が挿入されていますので、それらを分離し、適正な処理をして下さい。
- ⑦ 配電盤・コンセント・スイッチボックス等電装部品を取り外して下さい。
 - ・電装部品には、水銀等環境負荷物質が使用されている場合があります。
- ⑧ 側面内板、天井内板、間仕切り内板を取り外して下さい。(ビス固定)
 - ・各内板は接着剤が併用されていますので、ボール等を用いて剥がして下さい。
 - ・撮影室内板裏に貼り付けられている鉛板は必ず分離し、適正な処理をして下さい。
- ⑨ 内外板間、間仕切間の断熱材等を取り外して下さい。
 - ・素材別に適正な処理を行って下さい
- ⑩ 内外板間、間仕切内の配線材を抜き取って下さい。

- ⑪ エンジンカバー、エンジンフロア上材・ミッション点検蓋を取り外して下さい。(ビス固定)
 - ・上記エンジン側には断熱材が貼られています。(接着材固定)
 - それら素材別に分離し適正な処理を行って下さい。
- ⑫ 床材(ベニヤ)を取り外して下さい。(ビス固定・接着剤併用)
 - ・まず、上面に接着されている塩ビ材を剥がした後、ビスを外しボール等で取り外して下さい。

5. ボデー外板及び鉄骨

- ・鉄骨材料は1.6mm～6mmの鋼材
- ・外板材料は0.8mm～1.6mmの鋼材(一部FRP使用)
- で構成されておりますので、FRP部分は分離し適正な処理を行って下さい。